

## 令和3年度第1回佐倉市入札監視委員会議事概要

日時	令和3年7月28日(水) 午後1時30分～
場所	議会棟 全員協議会室
出席者	<委員> 湯川委員長、野村委員、矢口委員 <事務局> 契約検査課 <担当課> 佐倉図書館・水道課・下水道課・道路維持課・道路建設課・指導課・廃棄物対策課・学務課・都市計画課・こども保育課・公園緑地課
<b>【議事概要】</b>	
<b>○議題1 入札・契約の手続きの運用状況等について</b>	
令和2年10月1日から令和3年3月31日までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告しました。	
<b>○議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について</b>	
令和2年10月1日から令和3年3月31日までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した10件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。	
<b>[主な質疑]</b>	
<b>案件① 令和3年度佐倉図書館清掃業務委託(佐倉図書館・一般競争入札)</b>	
(質問) 落札率が99.9%と高い理由をどのように考えていますか。	
(回答) 本事業は、毎年、日常清掃と定期清掃の業務を委託しているものですが、積算方法を見直すことにより予定価格が例年よりも低くなり、相対的に落札率が高くなったものと考えています。	
(質問) 予定価格が下がった理由は何でしょうか。	
(回答) 過去の落札金額を踏まえた実勢価格により積算いたしました。	
(質問) 本案件では、参加申請者のうち5者が辞退していますが、理由を教えてください。	
(事務局) 辞退届に記載されている理由には、「採算が合わないため」「会社都合のため」「手持ち業務が多いため」などが挙げられていました。	
<b>案件② 20改水ー13井野地先水道管耐震化工事(2工区)(水道課・一般競争入札)</b>	
(質問) 落札率が98.7%と高い理由をどのように考えていますか。	
(回答) 資材経費の占める割合が比較的高く、また小規模工事であったことから、資	

材費の低減を図ることが難しかったことが考えられます。

(質問) 資材費の価格動向はどのような傾向にあるのでしょうか。

(回答) この工事で使用したのは、ポリエチレン管ですが、铸铁管などは、今後、10%程度上がる可能性が高いとされています。

(質問) 今後も資材高騰の傾向は続くのでしょうか。

(回答) そのように考えております。なお、この工事は工区の延長距離が短いのですが、1キロメートル程度と長い工区となる工事では、資材の購入量が増え、単価を下げられることが期待できます。

(質問) 入札参加者は3者となっていますが、参加可能な市内業者は何者いるのでしょうか。また参加者が少ない理由はどのように考えますか。

(回答) 入札参加可能業者は、市内24者で、そのうち10者程度が過去に入札参加されています。水道管工事は数多く発注しており、本事業の発注時期は、事業者によっては手持ちの工事が多く、配置可能な技術者がいなかったのではと考えております。

#### 案件③ 上志津地先舗装復旧工事（下水道課・一般競争入札）

(質問) 落札率が100.0%と高い理由をどのように考えていますか。

(回答) 工事場所が京成電鉄の踏切付近の工事であるため、鉄道事業者と多くの協議を要し、また、踏切遮断機が下りている際の重機作業の停止、午前1時から午前5時までの鉄道事業者の立ち合いなど、施工条件や時間的制約により、効率の良くない現場であったことが理由であると考えております。

(質問) 辞退された2者の理由はどのようなものでしょうか。

(事務局) 辞退理由として、「作業員確保が困難」「採算が合わない」が挙げられました。

#### 案件④ 令和2年度FWD調査業務委託（道路維持課・一般競争入札）

(質問) 落札率が98.7%と高い理由をどのように考えていますか。

(回答) 入札参加者が2者しかなかったのですが、このうち1者は最低制限価格を下回って無効となったため、残りの1者が落札する結果となりました。

(質問) 入札を辞退された会社の辞退理由を教えてください。

(事務局) 辞退理由は、「採算が合わない」となっています。

#### 案件⑤ 明神橋災害復旧修正設計業務委託（道路建設課・随意契約）

(質問) この事業を随意契約とした理由について教えてください。

(回答) この案件は、「令和元年度明神橋災害復旧設計業務委託」の成果物である設計をもとに、修正設計を行うものとなります。そのため、同じ受託者と契約する

ことにより、事業期間の大幅な短縮が見込めることや、同一業者が実施することで、成果品の責任の所在が明確になることから、随意契約といたしました。

(質問) 当初の設計段階で現場の調査が不十分であったなど、委託業者に落ち度はなかったのでしょうか。

(回答) 災害発生後の状況では、測量は可能でしたが、軟弱地盤であることを確認することは困難で、実際に現場で復旧工事を行う中で判明したものです。

**案件⑥ 令和2年度給食室厨房機器分解清掃業務委託（指導課・一般競争入札）**

(質問) 落札率が98.8%と高い理由をどのように考えていますか。

(回答) この事業は、市内の小学校23校、中学校11校、合計34校の各小・中学校の調理室にある、メーカーの異なる揚げ物機と焼き物機を分解・清掃し、さび止めを施したうえで再度組み立て、試運転を行うというもので、技術を有する方が一定期間内に作業をするということで、委託料はほぼ人件費が占めており、入札価格を大きく下げられないものと考えています。

(質問) 市内34の小・中学校が事業場所となるのでしょうか。

(回答) 佐倉市の小・中学校は、全学校が自校方式の完全給食で、揚げ物機と焼き物機を備えております。事業者は各学校に出向いて、調理器具の分解清掃を行う仕様となっております。

(質問) 入札参加業者は1者のみですが、多数の業者が参加しにくいということでしょうか。

(回答) 実質的な事業期間が、各学校の冬休み期間に限定され、非常に短期間であり、年末年始をはさむこの時期に、技術者を確保することが困難であることなどが推察されます。過去には複数者の参加があったこともあり、各社、技術者の確保しだいであると思われれます。

**案件⑦ 令和2年度佐倉市立間野台小学校水栓購入（指導課・一般競争入札）**

(質問) 落札率が98.4%と高い理由をどのように考えていますか。

(回答) 新型コロナウイルスの流行が始まった令和2年以降、手で直接触れることなく、水を出すことができる水栓の需要が全国的に高まりました。このため、需要に供給が追いつかず、調達価格が上がったために、落札率も上がったものと考えています。

**案件⑧ 令和2年度佐倉市粗大ごみ処理券印刷製本（廃棄物対策課・一般競争入札）**

(質問) 落札率が41.2%と、低い理由はなぜでしょうか。

(回答) 設計金額を積算する際には、印刷の原版費用も積算に含めています。そのため、過去に落札実績があり、すでに印刷の原版を有している今回の落札業者は、

原版コストを大きく削ることが可能であったと考えています。

(質問) 特殊な印刷仕様なのでしょうか。

(回答) 金箔印刷やマイクロ文字を入れるなど、偽造防止の工夫を図るための仕様となっています。この特殊性から、応札する参加者が少ないことも理由として捉えています。

**案件⑨ 令和3年度通学路巡回警備業務委託 (学務課・一般競争入札)**

(質問) 落札率が 99.2%と高い理由をどのように考えていますか。また、事業の具体的な内容についてお伺いさせてください。

(回答) 人件費が上昇していることや、業務に必要な車両5台分の経費などから、落札額も高くなったものと考えています。業務内容は、市内小・中学校34校を、5地区に地域分けして、毎日、子供たちの登下校時間に合わせて、年間約200日、車5台で同時巡回をするものです。佐倉市の場合、20年以上、この事業を行っています。

(質問) この事業を実施したことで、犯罪を未然に防いだなどの実績はあるのでしょうか。

(回答) 市に寄せられた様々な不審者情報などをもとに、重点警備地域などを事業者伝えていきます。また、不審者を発見した際には、警察と連携し、該当者に注意や警告をすることもあります。

**案件⑩ 令和3年度 JR 佐倉駅自由通路定期清掃業務委託 (道路維持課・一般競争入札)**

(質問) 落札率が 19.48%とかなり低くなっています。事業の円滑な実施に支障が出ていないか教えてください。

(回答) 市の積算では、国土交通省の積算基準に則り積算しております。相手方は、佐倉市内で多数の清掃業務を受託しており、効率的に人員を配置し、実施することが可能であることから、落札率が低くなったものと考えます。

実際の業務は、毎月1回、基本は2人で担当されています。完了後に現場を確認したところ問題なく、クレームなどの問題となることもなく、円滑に実施されているものと思います。

**○議題3 プロポーザル方式による受注者の選定結果等について**

令和2年10月1日から令和3年3月31日までに実施したプロポーザル方式により業者選定をした7件の案件の内、3件について、事業担当課職員による選定結果報告及び質疑応答を行いました。

**案件① 佐倉市コミュニティバス（飯重・寺崎ルート）運行業務委託（都市計画課）**

（質問）事業内容と事業の実施状況について教えてください。

（回答）この事業は、既存の路線バスが通っていない交通空白地域における住民の移動手段の確保を目的としたものです。7月から運行を開始し、1日9往復・18便となっています。1日の乗車人数は約20人程度です。当初の計画では、1日約30人の利用を想定していましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、下回っている状況です。運賃は、既に運行中のコミュニティバスの他のルートと同様に、運行距離に関わらず、大人は一律200円です。75歳以上のかたや、免許返納者には割引制度があり、100円となっています。また、運賃は佐倉市に納付される契約となっています。

（質問）既存のコミュニティバスの運行ルート数と運行会社についてお伺いできますでしょうか。

（回答）すでに4ルートを運行しており、今回は5ルート目となります。既存4ルートのうち、3ルートが今回と同一事業者で、1ルートは異なる事業者となっています。今回、新ルートの運行を開始するにあたり、路線のバス停設置やルートについて地元住民の方に相談したところ、好意的な声をいただいています。

**案件② 佐倉市ファミリーサポートセンター事業業務委託（こども保育課）**

（質問）業務の内容について教えてください。

（回答）地域における、育児援助を受けることを希望する方と、育児援助を提供することを希望する方で構成される会員相互間の援助活動事業です。具体的には、保育園や学童保育所の送迎、ご両親が仕事から帰られるまでの一時預かりなどです。昨年度は、年間1980件の利用がありました。これまで11年実施しています。

プロポーザル方式実施理由としては、会員の状況を十分に把握したうえで、ニーズに合ったマッチングを行い、会員からの相談に応じて、適切な助言を行なうなどの専門的な技術を必要とするためです。ノウハウや専門性、事業の質の維持・向上、安全管理対策などを総合的に判断し、業者選定する必要があると考え、実施いたしました。

（質問）この事業の利用にあたって、世帯の収入などの制約はありますか。

（回答）制約はなく、どなたでも利用できます。

（質問）例えば社会福祉協議会などは、契約の相手方としてどうなのでしょう。

（回答）育児のサポート事業のノウハウや技術を有する事業者に委託したいと考え、社会福祉法人に限らず、プロポーザル方式を採用いたしました。

（質問）保育園の補完事業となるのでしょうか。また、10年以上実施されているとの

ことでしたが、今回の契約相手方以外の事業者が実施した実績はありますか。  
(回答) 保育園の補完的役割もあります。また、保育園のような毎日の預かり保育ではなく、急に病気になった時などに一時的に預かりをお願いしたい、という場合での利用も可能となっています。契約実績としましては、今回の業者が当初から実施しています。

(質問) 事業場所は1か所のみでしょうか。

(回答) 市内ではここだけです。サービス提供は、市内全域で実施しています。

### 案件③ 令和3年度佐倉城址公園管理業務委託（公園緑地課）

(質問) 事業の内容や実施状況はいかがでしょうか。

(回答) 業務提案の中で、年間の草刈り回数がこれまでより増え、菖蒲田管理も丁寧な管理がなされており、良好な管理をいただいています。

(質問) 契約の相手方は市内業者だと思いますが、同様の業務に関して、市内での契約実績について教えてください。

(回答) 契約事業者は、今年度は、佐倉城址公園の管理業務委託のみで、他の公園管理は行っておりませんが、過去には市内の公園管理事業の契約実績を有します。

(質問) 参加業者2者は、両者とも市内業者でしょうか。

(回答) 契約相手は市内業者で、もう1社は市外業者でした。

(質問) 前年度は、別の業者が実施されていたのでしょうか。

(回答) この業務は1年間契約で、従前は、入札で相手方を決定しておりました。そのため、令和2年度、元年度、ともに別の業者と契約していました。

(質問) 実際に、プロポーザル方式で相手方を決定し、管理状況はどのように変わってきていますか。

(回答) 事業を開始してからまだ4か月のため、明確な具体的効果はまだ確たるものではありません。ただ、これまでは良好に管理されており、残りの期間も適切な管理をいただけるものと期待しています。